
カクテルの鎮魂歌

ドラキュラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カクテルの鎮魂歌

【Nコード】

N8181G

【作者名】

ドラキュラ

【あらすじ】

アメリカにあるニューヨーク市。自由の女神が立つ場所で大都会という言葉が最も似合う場所。その中で静かに立つ名もなき小さなバー。そこに一人の男がカクテルを飲んでいた。カクテルの名前はマンハッタン。ニューヨークにあるマンハッタンをイメージして作られたカクテル。彼女が好きだったカクテル。しかし、今は鎮魂のカクテルとなっている。名もなき小さなバーでのバーテンダーと客の女の名もなき恋。今宵は貴方もカクテルを飲んで酔って下さい。

カクテルの鎮魂歌（前書き）

行きつけのバーで飲んだマンハッタンを思い出して書いた小説です。
かなり無茶な設定だとは思いましたが、読んでみてください。

カクテルの鎮魂歌

アメリカ合衆国のニューヨーク市。

自由の女神が立ち夜でも明かりは絶えず人も少なくはなるが多く歩く騒々しい街。

そんなニューヨークで俺は一人で名も知れぬバーで一人、酒を煽っていた。

名も知れぬとあるが、俺の店だ。

十数年前に立ち上げて名前は、あつたが忘れてしまった。

今日は休業だから客は入って来ないから安心して酒が飲める。

飲んでいるカクテルは、マンハッタン。

これは名前の通り、ニューヨークのマンハッタンをイメージして作られたカクテルだ。

もっと正確に細かく言えばマンハッタンに落ちる夕日をイメージして作られた。

夕陽。

昼と夜の間だけ見る事が出来る太陽。

彼女が好きだった。

『夕陽って昼と夜の間でしか出る事が出来ないじゃないですか。それが、何だかとても悲しくて、でも綺麗だなと思うんです』

言われて、その日の夕陽を見ると確かに悲しいほどに綺麗だった。

その彼女が好きだったのがマンハッタンだ。

彼女とは店がリズムに乗ったくらいの時に知り合った。

清楚でお淑やかなニューヨークの女たちにはない品が感じられた。

ニューヨークの女たちは利己的で手段を選ばないのが俺の中であつたからだ。

彼女が初めて頼んだカクテルがマンハッタン。

俺が最も苦手とするカクテルだった。

しかし、彼女の為に不器用な俺は精一杯の思いで作った。

そんなマンハッタンをあの子は美味しいと言って飲んでくれた。

それから何時も彼女の為にマンハッタンを作った。

彼女は美味しいと何時も言って飲んでくれた。

それが嬉しかった。

あの子が笑うと、どんな辛い事も消えてなくなる。

心が潤い癒された。

彼女のような娘にこそ天使という呼び名が似合う。

しかし、その彼女はもう居ない。

若くして死んでしまった。

俺は風の報せで彼女の死を知り頭の中が真っ白になった。

今日も彼女が来ると思ってマンハッタンを作って待っていたのに。

以来、俺は彼女の命日にマンハッタンを作って一人で飲むようにしている。

俺なりに若くして亡くなった彼女の鎮魂だ。

ピアノでも弾ければモーツァルトのレクイエムでも弾く所だが、俺は不器用だ。

ピアノなんて弾けない。

だから彼女が美味しいと飲んでくれたマンハッタンを作る事で彼女の清らかな魂が何時までも汚れずに綺麗なままにいるようにと願い作る。

マンハッタンを一口のむ。

口の中にカクテルの味が染み込む。

「・・・・・・・・不味いな」

彼女は美味しいと言ってくれたマンハッタンだが、俺的には最悪な味だった。

それは彼女の為に流した塩が混ざったからなのか、俺の腕が衰えたのかは分からない。

カクテルの鎮魂歌（後書き）

皆さんもマンハッタンをバーに行ったら飲んでみてください。

マンハッタンの作り方（前書き）

マンハッタンの作り方やレシピなどを載せました。

マンハッタンの作り方

要約

カクテルの鎮魂歌で出てきたマンハッタンについて説明しようと思います。

ウイスキーをベースにしたカクテルで通称を“カクテルの女王”と言われているカクテルの大御所です。

逆にジンをベースにしたマティーニは“カクテルの王様”と言われています。

どちらも最高の味です。（作者なりにはドライ・マティーニが好き）
名前の由来は諸説ありますが、全てニューヨークのマンハッタンに由来しています。

作者は諸説の中で一番のお気に入り夕陽をイメージして作られたという諸説を参考にさせていただきました。

他にも色々と諸説あるので皆さんも調べてみては如何でしょうか？

カクテルだけでなく酒は歴史が古くロマンティックな話もありますので……………

材料

ライ・ウイスキー、バーボン・ウイスキーまたはカナディアン・ウ

イスキー 2

スイート・ベルモット 1

アングスチュラ・ビターズ 数滴

上記に上げた材料をミキシンググラスに入れてステア（かき回す）してカクテルグラスに注いでマラスキーノ・チェリーを飾る。

作者も一度だけ作った経験があるが、あまりの不味さに挫折したカクテルです。

ただバーなどで出されるマンハッタンは最高の味なので皆さんも飲んでみるといいと思います。

ちなみにマラキーノ・チェリーは最初に食べるとチェリーの味が濃いマンハッタンを、最後に食べると甘い味になります。

皆さんはどちらが良いでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8181g/>

カクテルの鎮魂歌

2010年11月23日04時40分発行